



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名 中部飼料株式会社
 コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 井藤 直樹
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東 名

TEL 052-562-2010

平成24年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	64,161	△4.9	986	1.3	1,097	6.5	485	△12.9
24年3月期第2四半期	67,438	14.8	973	8.2	1,029	17.1	556	26.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 246百万円 (△19.1%) 24年3月期第2四半期 305百万円 (520.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	18.56	—
24年3月期第2四半期	21.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	61,481		32,824		53.4		1,254.78	
24年3月期	60,676		32,813		54.1		1,257.37	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 32,814百万円 24年3月期 32,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	2.0	1,900	△26.5	2,000	△22.1	1,050	△21.7	40.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	26,535,508 株	24年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	384,352 株	24年3月期	438,623 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	26,130,254 株	24年3月期2Q	26,017,686 株

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(25年3月期2Q 332,400株、24年3月期 386,700株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかに回復しつつありますが、欧州政府債務危機、長期化する円高及びデフレや中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、米国の干ばつによる作柄への影響から6月以降値を上げ、8月には最高値を更新するなど高値で推移しております。今後も需給が緩和される可能性は低く、予断を許さない状況が続くと思われます。こうした原料状況を反映して飼料メーカー各社は、配合飼料価格を2度値上げしましたが、前期の下期以降2度の値下げを行っていることから、平均販売価格は前年同四半期を下回っております。

このような状況のなか、当社グループは、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。また、原材料の高騰に対応するため、独自の加工技術により、とうもろこしの使用比率を引き下げて糟糠類を多用した飼料の拡販に注力しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高641億61百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益9億86百万円（前年同四半期比1.3%増）、経常利益10億97百万円（前年同四半期比6.5%増）、四半期純利益4億85百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

主力の畜産飼料が平均販売価格、販売量ともに前年同四半期を下回ったことにより、売上高は、4.9%の減収となりました。経常利益は、飼料価格安定基金負担金の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益率の改善、営業外収益の増加及び営業外費用の減少などがあつたため、6.5%の増益となりました。経常利益が増加したものの、四半期純利益が12.9%減益となった主な理由は、岡山工場を水島工場に統合したことによる工場移転費用を特別損失に計上したためであります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

前年同四半期と比較して、平均販売価格が下回ったことと畜産飼料販売量が若干減少したことから、売上高は、前年同四半期比6.6%減の537億56百万円となりました。セグメント利益は、飼料価格安定基金負担金の増加などにより、前年同四半期比14.4%減の8億55百万円となりました。

(コンシューマー・プロダクツ)

ペットフードの販売量、自社開発の畜産物取扱量ともに増加したことにより、売上高は、前年同四半期比2.8%増の72億32百万円となりました。原材料の上昇により利益率は悪化したものの、増収効果により、セグメント利益は、前年同四半期比22.7%増の1億16百万円となりました。

(その他)

売上高は、前年同四半期比11.3%増の31億72百万円、セグメント利益は、前年同四半期比23.5%減の95百万円となりました。売上高が増加した主な理由は、畜産用機器の販売台数が増加したためであります。セグメント利益が減少した主な理由は、横浜流通倉庫の利益が減少したためであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億5百万円増加の614億81百万円となりました。流動資産は355億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少しました。これは主にその他の流動資産が5億31百万円増加したものの、原材料及び貯蔵品が7億60百万円減少したことによるものであります。固定資産は258億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億36百万円増加しました。これは主に無形固定資産が2億35百万円、投資有価証券が1億13百万円減少したものの、機械装置及び運搬具が13億32百万円増加したためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ7億94百万円増加の286億57百万円となりました。流動負債は233億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億62百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が2億38百万円、未払法人税等が6億20百万円減少したものの、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が12億96百万円増加したためであります。固定負債は53億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億31百万円増加しました。これは主に、長期借入金が7億94百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加の328億24百万円となりました。これは主に繰延ヘッジ損益が1億58百万円減少したものの、利益剰余金が2億18百万円増加したことによるものであります。総資産が増加したため、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント減少の53.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、8億36百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における資金の減少は1億51百万円、新規連結に伴う資金の増加は6百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3億8百万円（前年同期24億1百万円の資金使用）となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前四半期純利益7億83百万円及び減価償却費12億35百万円の計上であります。一方、主な資金使用の要因は売上債権の増加1億23百万円、仕入債務の減少2億9百万円、法人税等の支払額8億21百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は23億69百万円（前年同期比16億79百万円増加）となりました。これは主に固定資産の取得による支出24億30百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は19億9百万円（前年同期比6億2百万円減少）となりました。これは主に配当金の支払額2億8百万円があったものの、借入金純額で20億90百万円増加したためであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月19日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995	850
受取手形及び売掛金	25,900	25,970
商品及び製品	1,841	1,940
仕掛品	468	566
原材料及び貯蔵品	5,167	4,406
その他	1,642	2,173
貸倒引当金	△299	△324
流動資産合計	35,716	35,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,482	6,957
機械装置及び運搬具(純額)	4,437	5,769
工具、器具及び備品(純額)	657	682
土地	7,148	7,148
建設仮勘定	717	280
有形固定資産合計	19,443	20,838
無形固定資産		
のれん	85	47
その他	1,999	1,802
無形固定資産合計	2,085	1,849
投資その他の資産		
投資有価証券	1,969	1,856
長期貸付金	1,252	1,199
その他	967	839
貸倒引当金	△758	△686
投資その他の資産合計	3,431	3,208
固定資産合計	24,960	25,896
資産合計	60,676	61,481

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,115	9,877
短期借入金	8,100	8,719
1年内返済予定の長期借入金	958	1,635
未払法人税等	866	245
賞与引当金	336	412
役員賞与引当金	38	—
資産除去債務	78	—
その他	2,554	2,419
流動負債合計	23,047	23,310
固定負債		
長期借入金	3,098	3,892
退職給付引当金	354	378
債務保証損失引当金	88	87
資産除去債務	81	82
負ののれん	129	85
その他	1,061	820
固定負債合計	4,814	5,346
負債合計	27,862	28,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	27,677	27,896
自己株式	△274	△240
株主資本合計	32,451	32,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	346	271
繰延ヘッジ損益	14	△143
為替換算調整勘定	—	△18
その他の包括利益累計額合計	361	109
少数株主持分	—	10
純資産合計	32,813	32,824
負債純資産合計	60,676	61,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
売上高	67,438	64,161
売上原価	60,964	57,593
売上総利益	6,474	6,568
販売費及び一般管理費		
運賃	1,224	1,216
飼料価格安定基金負担金	1,240	1,486
のれん償却額	62	38
賞与引当金繰入額	262	259
貸倒引当金繰入額	126	△42
その他	2,583	2,623
販売費及び一般管理費合計	5,500	5,582
営業利益	973	986
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	27	49
保管料収入	42	54
負ののれん償却額	44	44
貸倒引当金戻入額	36	—
債務保証損失引当金戻入額	—	1
持分法による投資利益	0	7
その他	53	72
営業外収益合計	217	240
営業外費用		
支払利息	52	46
貸倒引当金繰入額	—	20
債務保証損失引当金繰入額	61	—
保管料原価	35	47
その他	12	14
営業外費用合計	161	129
経常利益	1,029	1,097

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
特別利益		
固定資産売却益	0	3
補助金収入	—	9
受取保険金	2	—
特別利益合計	3	12
特別損失		
固定資産除売却損	56	3
投資有価証券評価損	6	7
ゴルフ会員権評価損	3	0
工場移転費用	—	314
特別損失合計	66	326
税金等調整前四半期純利益	966	783
法人税、住民税及び事業税	498	238
法人税等調整額	△87	65
法人税等合計	410	303
少数株主損益調整前四半期純利益	556	479
少数株主損失 (△)	—	△5
四半期純利益	556	485

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	556	479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△75
繰延ヘッジ損益	△222	△158
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益合計	△251	△233
四半期包括利益	305	246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305	251
少数株主に係る四半期包括利益	—	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	966	783
減価償却費	1,229	1,235
持分法による投資損益(△は益)	△0	△7
のれん償却額	62	38
負ののれん償却額	△44	△44
賞与引当金の増減額(△は減少)	93	76
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△38
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20	23
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	61	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	90	△21
受取利息及び受取配当金	△40	△59
支払利息	52	46
為替差損益(△は益)	3	2
投資有価証券評価損益(△は益)	6	7
ゴルフ会員権評価損	3	0
固定資産除売却損益(△は益)	55	0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,980	△123
たな卸資産の増減額(△は増加)	△695	581
仕入債務の増減額(△は減少)	△958	△209
その他	△900	△1,172
小計	△2,009	1,117
利息及び配当金の受取額	40	60
利息の支払額	△52	△47
法人税等の支払額	△380	△821
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,401	308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△22	△25
貸付金の回収による収入	119	78
有価証券の取得による支出	△50	△1
固定資産の取得による支出	△750	△2,430
固定資産の売却による収入	2	6
その他の支出	△13	△7
その他の収入	25	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690	△2,369

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,800	619
長期借入れによる収入	600	2,000
長期借入金の返済による支出	△678	△529
自己株式の取得による支出	△30	△0
自己株式の売却による収入	29	27
配当金の支払額	△208	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,511	1,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△579	△151
現金及び現金同等物の期首残高	1,278	980
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	101	6
現金及び現金同等物の四半期末残高	800	836

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	57,550	7,038	64,589	2,849	67,438	—	67,438
セグメント間の 内部売上高又は振替高	287	0	287	10	298	△298	—
計	57,838	7,038	64,876	2,860	67,737	△298	67,438
セグメント利益	999	94	1,093	125	1,219	△252	966

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△679百万円、金融収支463百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,756	7,232	60,989	3,172	64,161	—	64,161
セグメント間の 内部売上高又は振替高	293	0	293	4	297	△297	—
計	54,049	7,232	61,282	3,176	64,459	△297	64,161
セグメント利益	855	116	971	95	1,067	△283	783

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△503百万円、金融収支459百万円、工場移転費用△314百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（セグメント区分の変更）

従来、「飼料」、「コンシューマー・プロダクツ」及び「不動産賃貸」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、「不動産賃貸」について量的な重要性が減少したため、第1四半期連結会計期間より、「飼料」及び「コンシューマー・プロダクツ」の2事業を報告セグメントとし、「不動産賃貸」を「その他」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「飼料」で28百万円、「コンシューマー・プロダクツ」で0百万円増加しております。